

S-RED 通信

社会・地域創発本部 Society Region Emergence Department

第 2 回北海道創発会議×プラチナ構想ネットワーク北海道支部設立記念

北海道大学第二回北海道創発会議 × プラチナ構想ネットワーク北海道支部設立記念

北海道 2100 年の景色
2100 年、私たちはこの「北海道」で、どのような景色を見ているのだろうか?



小宮山 宏氏

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 会長
三菱総合研究所 理事長
東京大学 第 28 代総長
北海道の次の 100 年に向け、vision「プラチナ社会＝地球が持続し、豊かで、すべての人の自己実現を可能にする社会」を掲げて活動

寶金 清博氏

北海道大学 総長
『「光」は「北」から、「北」から「世界」へ』をスローガンに、社会と歩む卓越大学「Accessible Excellence」をめざし活動

【開催日時・場所】

2022 年 12 月 12 日 (月)
北海道大学フード & メディカルイノベーション国際拠点
1F 多目的ホール (札幌市北区北 21 条西 11 丁目)
参加費：無料

【事前予約制 / 締切 11/30 (水)】

QR コードまたは URL よりお申込みください。

<https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=lioi-lgoglf-b92fa36f4ad354799b6b497c25c4c02e>



会場に来られない方は、Zoom から参加できます。

<https://zoom.us/j/91359425364?pwd=MFlhUHZjMm9PRDdtRVh1Q3EzUmxrUT09>

ミーティング ID 913 5942 5364 パスコード 848831

【会場へのアクセス】

QR コードまたは URL でご確認ください。
<https://www.fmi.hokudai.ac.jp/access/>



2100 年の北海道を想像してみてください。

道民は心身ともに健康で、自分らしく幸せに生きているでしょうか？

「私たち」が 2100 年の北海道に向けてできること、そのヒントを探しに来てください。

スケジュール

- 15:30 会場オープン
- 16:00 - 16:15 開会あいさつ・趣旨説明
- 16:15 - 16:30 ご来賓挨拶 北海道庁 文部科学省 札幌市
- 16:30 - 17:45 対談「北海道 2100 年の景色」小宮山 宏 氏 寶金 清博 氏
- 17:45 - 18:00 閉会挨拶 中川 雅人 氏 国立研究開発法人科学技術振興機構シニアフェロー
株式会社デンソー フェロー
増田 隆夫 氏 北海道大学 理事・副学長
- 18:00 - 19:00 名刺交換会 参加費 /4,000 円 (当日徴収)
※会場は FMI 国際拠点 2F

お問い合わせはコチラ

北海道大学 産学・地域協働推進機構 社会・地域創発本部 (S-RED)
〒001-0021 札幌市北区北 21 条西 11 丁目 FMI 国際拠点 1F
TEL: 011-706-9602 E-mail: coi-meeting@fmi.hokudai.ac.jp

若い人たちが自分らしく生きられる社会をつくりたい

多様性が広がりつつある今、自分らしく生きるためには、何が必要なのでしょう？ 私たち北大 COI-NEXT ころとカラダのライフデザイン共創拠点（以下、拠点）は、自分のころとカラダに対する正しい理解があって初めて、多様な選択肢を増やすことができると考えています。ころとカラダを理解できる仕組みをつくることで、若い世代が自分らしく生き、望めば望んだ時に産み、安心して育てられ、誰もが活躍できる地域社会をめざします。そのために、拠点の副プロジェクトリーダー玉腰暁子先生が行っている、研究の概要をご紹介します。

研究開発課題 1：自分ごとの若者コホート構築

若い人を対象に、健康状態、生活習慣に加え、就職、出産等の人生の選択やイベントなどに関する情報を継続的に収集し、各種生体試料の提供も募ります。そのための仕組みとしてメタバース空間を利用し、継続的に情報を収集するために専用のアプリを使用する予定です。

得られた情報・試料を多角的に解析することで、人生の選択の契機、生活の変化、妊娠、出産や健康、意識に関する検討を行い、若者のライフプラン選択の背景などを明らかにするほか、拠点内で実施されている各研究開発課題にも情報・試料を提供します。

日本では、このような若者を対象として継続的に情報・試料を追加しながら行う追跡研究がほとんど実施されておらず、効率のかつ継続的に情報を収集する方法論も確立されていません。本研究ではメタバース空間やデジタル技術を駆使することで、多くの若い方々の継続調査が容易となることを期待しており、得られた結果を「他者とともに自分らしく生きる」ために必要なサポート体制構築に役立てていきます。

研究開発課題 2：他者（ひと）とともに自分らしく生きる

社会の中で「自分らしく生きる」ために、若者の社会的エンゲージメントの望ましいありかたを明らかにしていきます。その実現のために、大きなライフイベントを経た当事者へのインタビューと、多様な立場の人々の対話から課題を抽出し集約していく手法（対話コンポーネンツ）を組み合わせ、個人と社会の両面から考察を行い、個人の行動が組織や社会の健全な成長に好影響を与えるような共通原理を導き出し可視化していきます。

そこで得られた知見をもとに、自身の価値観に基づいて、自分らしい人生の構想を描けるライフデザイン教育、およびそのためのインターフェイスの開発を行う予定です。最終的には、得られた結果をもとに政策提言につなげます。

若い世代が希望を持てる社会をめざして

2つの研究開発課題研究開発課題の目的は、若い世代が他者（ひと）とともに自分らしく生きるために、社会全体で受け入れられる多様な選択肢を提示することです。様々な格差を解消することで、みんなが等しく、将来に希望を持てる社会の実現をめざしている玉腰先生。皆様の応援とご協力を、よろしくお願いします！



玉腰 暁子

北大 COI-NEXT ころとカラダのライフデザイン共創拠点
副プロジェクトリーダー / 研究開発課題リーダー
北海道大学大学院医学研究院 教授

VOICE

「若い人を対象に若者コホートを作りましょう！」なんて、言うは易し行は難し…。どう人を集めるか、集まった人を引き留めるか、自分ごととしてデータを提供いただくか、何があれば参加の魅力を高められるのか。どんな知恵でも結構です！ぜひ授けてください！

対話コンポーネンツに参加することで、自分自身の考えも揺さぶられます。現在は妊娠出産を巡る話題を取り上げています。ご関心のある方、連絡ください。参加歓迎いたします！

今後のイベント（予定）

12/2 ~ 4 ハートフルネスワークショップ
（講師：スティーヴン・マーフィ重松氏）

12/12 第2回北海道創発会議

2023/01 第5回参画機関会議

2023/03/18 emmy fes0.9 in 小樽

S-RED 通信バックナンバー

S-RED通信

